

科目名	保 健 ・ 体 育 Physical Education			担当教員	高木 祐介 (窓口教員：中瀬 已紀生)		
学 年	4 年	学 期	通年	科目番号	09102	単位数	2
分 野	一般	授業形式	実技	履修条件	必履修		
学習目標	目標区分 (A-1)：倫理観－倫理観を育て社会貢献の意義を理解・表現できる。 様々なスポーツ種目の実践を通じて、①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、を目指す。						
進 め 方	学習目標①～③に対応して、スポーツ種目の実践を実技形式の授業でおこなう。						
学習内容	学習項目（時間数）			合格判定水準			
	前期：室内球技 選択（バレーボール、バドミントン、卓球） （体育館１０） フットサル（体育館１０） [前期中間試験]実施せず			実技の授業ではでき得る限り全て出席し、実際に身体を動かす。 各種目ごとに基礎スキルの実技テストをおこなう場合がある。 各種目ごとに異なるチームを作り、単元の後半にゲームを行い、その内容と成績を評価する。			
	バスケットボール（体育館１０） 前期末試験 実施せず						
	後期：屋外球技 ソフトボール（運動場１０） 選択（テニス、サッカー）（運動場、テニスコート１０） [後期中間試験]実施せず						
	サッカー（運動場１０） 後期末試験 実施せず						
評価方法	・評価の割合は実技５０％、出席状況５０％とする。 ・出席状況は見学を－１点とし、欠課を－５０／３０点として５０点満点で評価する（半期）。 ・服装頭髮や実技中の行動などマナーが守れない者については減点する。						
関連科目	保健体育（１年）→保健体育（２年）→保健体育（３年）→保健体育（４年）→保健体育（５年）						
教 材	参考図書：現代保健体育（大修館書店）						
備 考	受講要件：実技では指定の体操服を着用すること。水泳授業時は水着・帽子を着用すること。体育館では指定の体育館シューズを履き、運動場では運動靴を履くこと（革靴等不可）。 グラウンドコンディションが不良の場合は内容を変更することがある。 この科目では、本年度内及び進級後に単位追認試験を実施しない。						